

令和7年度事業計画及び収支予算について

1 受託事業

(1) 電源地域産業育成支援事業

① 若狭路情報発信・調査事業【28,800千円】

若狭路の「食」を中心とした観光情報および若狭路に根付く歴史文化を発信し、各エリアにおける誘客や若狭路の「食」をはじめとするブランド形成の可能性や課題などに関する有効な情報発信手法等について調査・検証を行う。

○マスメディアによる情報発信（19,800千円）

テレビ番組（旅情報・グルメ番組等）などで情報発信するとともに、視聴者に対しアンケート調査を実施する。

・テレビ放送 年3回

○ホームページを活用した意向調査（4,500千円）

若狭湾観光連盟ホームページ「FUKUI 若狭ONEweb」での情報発信を通じたアンケート調査、ホームページアクセス解析による意向調査を実施する。

・アンケート調査 年3回

○英語版マガログ製作（4,500千円）

訪日外国人向け認知拡大を図るとともに来訪意向のある旅行者に観光情報を届ける。また実際に来訪する旅行者にはガイドブックとして、加えて海外旅行会社向けの商談ツールとしても活用する。完成品は、オンライン上に掲載し誰もがアクセス可能な状態とし、メディア関係者に情報発信に関するアンケートを実施する。

② 若狭路連携出向宣伝・調査事業【13,000千円】

若狭路の「食」を中心とした観光情報および若狭路に根付く歴史文化を発信し、若狭路の認知度や「食」のイメージ、訪問意向度等を現地に出向いて調査・検証を行う。

○県外出向宣伝（10,500千円）

出向宣伝会場への来場者に対して、プロモーションを実施するとともに、意向調査等を実施する。

・対象地域：関西地域、中京地域、北陸新幹線沿線地域 各1会場

○メディアミーティング（2,500千円）

メディアに対して、各市町で磨き上げてきた様々なコンテンツや新しい旬な情報を、現地に出向き、直接提供・説明するとともに、商品の完成度や訪問意向度

調査等を実施する。

- ・ 対象地域：関西地域、中京地域、北陸新幹線沿線地域の中から2会場

③ 若狭路周遊誘客促進・調査事業【13,200千円】

国内および訪日旅行者の位置情報ビッグデータを収集・分析、また、人流データを活用した来訪者アンケートを実施。現状把握と課題を整理し、課題解決に向けた誘客施策の方向性を検討する。

(2) 新外国人観光客嶺南PR事業【7,696千円】

○外国人観光客への敦賀・若狭エリアPR事業

- ・ 京都に滞在する外国人観光客を誘客するため、インフルエンサー等を活用して京都から敦賀・若狭エリアを巡る周遊モデルをPRする。

(3) 新嶺南宿泊滞在促進事業【3,521千円】

① 新SNSを活用した敦賀・若狭エリア宿泊滞在促進事業（2,531千円）

- ・ 敦賀・若狭エリアに宿泊する観光客を対象にしたSNSキャンペーンを通して、宿の魅力を宿泊者がSNSで発信・拡散することを促し、宿泊促進を図る。

② 新夕日スポットの整備事業（990千円）

- ・ 夕日を敦賀・若狭エリアの新たな観光コンテンツとするため、6市町と連携して活用方法を検討する。

(4) 新地域おこし協力隊事業【7,326千円】

- ・ 敦賀・若狭エリア魅力発信ライターとして、観光全般の情報発信担当とアウトドアアクティビティ担当の2名の採用を予定。



2 補助事業

(1) 嶺南地域産業育成支援事業 若狭路魅力総合発信事業【21,343千円】

① 若狭路メディア情報発信サポート事業（1,800千円）

- ・ 6市町等のプレスリリースを全国規模で情報発信し、敦賀・若狭エリアの露出拡大を図る。同時に、メディアに取り上げられやすいプレスリリースや営業資料等の作成支援を行う。

② 若狭路イベントサポート事業（1,200千円）

- ・ 東京神楽坂をはじめとする敦賀・若狭エリアへの誘客拡大を目的にしたイベント等で、若狭路固有の伝統芸能等の披露や若狭路プロモーションの支援を行う。

③ 若狭路インスタフォトコンテスト事業（3,572千円）

- ・ インスタを活用した旅先やお店の選定等の割合は、国内外において2～3割を占める重要な情報入手手段となっている。若狭湾エリアならではの海や湖、山、川といった自然の中で、カヌーやサップと言ったマリナクティビティや、キャンプ、サイクリングと言ったアウトドアアクティビティなど、若者が楽しめるコンテンツも充実しており、美しい夕日やならではの食の写真を増加させることで、若狭路への誘客、周遊につなげる。

④ まるごと周遊まっぷ（インバウンド向け）作成事業（2,700千円）

- ・ 若狭路の主要観光スポットやイラストマップを掲載したパンフレットの作成。インバウンド向け観光案内スポット等での配架やインバウンド向け商談会等で活用。

⑤ ホームページ「FUKUI 若狭 ONEweb」による情報発信事業（9,132千円）

- ・ 敦賀・若狭エリア全体の公式アカウントとして、アクティビティページの充実やイベントや食などの旬な情報を反映し、当エリア観光の情報発信のゲートウェイ機能の充実を図る。

⑥ 嘱託職員配置（2,939千円）

(2) 嶺南地域教育旅行・インバウンド推進事業【15,000千円】

敦賀・若狭エリア6市町・観光協会や宿泊・体験事業者、農林漁業者等と連携した教育旅行誘致活動や受入体制の充実を図り、嶺南地域の教育旅行の特長である「本物の交流体験」、「人々とのふれあい」、「若狭湾探究型教育旅行プログラム」等で他地域との差別化を強調し、未開拓マーケットからの教育旅行誘致を促進する。

インバウンドにおいては、県や県観光連盟、北近畿広域観光連盟等と連携し、営業活動や情報発信、また受入態勢整備等を実施し、誘致拡大につなげる。

○主な事業内容

- ・ コーディネーターの配置（JTBからの出向者経費） 1名

- ・国内外の商談会への参加、旅行会社・学校関係者等への営業（誘致）活動
- ・ホームステイ（民泊）の受入体制支援
- ・合同研修会（受入現場視察）の開催
- ・雑誌やWe b等を活用した情報発信
（月刊誌「教育旅行」、旅行新聞、インバウンドメディアサイトMA T C H A）
- ・海外インフルエンサー招聘事業
- ・インバウンド向け交流体験プログラムの開発・造成
- ・台湾インバウンド推進アドバイザーの配置 1 名
（現地商談会や旅行会社営業訪問時の通訳、現地での敦賀・若狭エリアのプロモーション、当連盟会員からの相談業務等）

（３）嶺南地域情報発信事業 広域観光情報PR事業【５，５００千円】

広域観光ガイドマップの作成やPRに必要なツールの製作、県内外のイベント等において若狭路の観光の魅力を広くPRし、誘客の促進を図る。

○主な事業内容

- ・若狭路まるごと周遊まっぷの作成
- ・PRグッズの製作
- ・県内外のイベント等でのPR
- ・東京神楽坂でのPR
- ・他機関が主催するイベント等でのPR
- ・出向宣伝等における若狭路特産品のPR
- ・県内外メディア視聴者等への特産品等のプレゼント

３ その他

（１）会議、総会、理事会等の開催

（２）その他事業

①広域観光推進事業（６５０千円）

○（公社）びわ湖高島観光協会との連携

- ・広域観光交流会議の開催 他

○北近畿広域観光連盟との連携

- ・ホームページ「まるごと北近畿」で若狭路の観光情報やイベント情報を発信
- ・都市部の旅行会社スペースを活用した観光パンフレットの配布
- ・インバウンドに向けたWEB等での情報発信

②出向宣伝事業（６３０千円）

- ・若狭路連携出向宣伝・調査事業等と連携した特産品のＰＲ

③広報事業（７６０千円）

- ・ハイウェイマップへの広告・観光情報等の掲載 等

(3) 新「青々吉日 TSURUGA WAKASA」発信事業（７０，０００千円）

実行委員会等の運営

①誘客・宣伝活動の企画、調整および推進

○実行委員会等の開催

- ・実行委員会総会の開催
- ・企画推進委員会の開催、各企画の調整

②誘客・宣伝事業の実施

○「青々吉日 TSURUGA WAKASA」発信事業

- ・首都圏等プロモーションの展開

インターネット広告、ＴＶ番組、旅行雑誌、Instagram、Web サイトなどにより、首都圏のほか関西・中京圏等へ情報発信を展開（年間）

- ・大阪・関西万博への出展

関西パビリオン多目的エリアにおいて出展し、来場者に「敦賀・若狭」をＰＲ（７月１０日、１１日）

- ・周遊企画（敦賀以西への誘客）

「青々吉日」サイト等を活用して、デジタルスタンプラリー（寺社仏閣やグルメ等）を展開（４月～１１月）



令和7年度収支予算書（正味財産増減予算書）
（令和7年4月1日～令和8年3月31日まで）

（単価：円）

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
（1） 経常収益			
受取会費	6,184,500	6,009,400	175,100
正会員受取会費	5,834,500	5,659,400	175,100
特別会員受取会費	350,000	350,000	0
事業収益	73,543,000	55,000,000	18,543,000
電源地域産業育成支援事業受託金	55,000,000	55,000,000	0
外国人観光客嶺南PR事業受託金	7,696,000		7,696,000
嶺南宿泊滞在促進事業受託金	3,521,000		3,521,000
地域おこし協力隊事業受託金	7,326,000		7,326,000
受取補助金等	35,500,000	42,000,000	-6,500,000
嶺南地域産業育成支援事業補助金	15,000,000	15,000,000	0
嶺南地域教育旅行・インバウンド推進事業補助金	15,000,000	15,000,000	0
嶺南地域情報発信事業補助金	5,500,000	12,000,000	-6,500,000
受取負担金	29,287,000	18,227,000	11,060,000
正会員負担金	2,695,000	2,705,000	-10,000
嶺南地域産業育成支援事業負担金	20,592,000	9,522,000	11,070,000
電源地域産業育成支援事業負担金	6,000,000	6,000,000	0
雑収入	500	600	-100
雑収益	500	600	-100
経常収益計	144,515,000	121,237,000	23,278,000
（2） 経常費用			
事業費	117,426,000	105,653,000	11,773,000
給料手当	2,458,000	2,312,000	146,000
福利厚生費	433,000	410,000	23,000
旅費交通費	4,036,000	4,284,000	-248,000
通信運搬費	274,000	208,000	66,000
消耗品費	143,000	142,000	1,000
印刷製本費	540,000	680,000	-140,000
租税公課	25,000	25,000	0
支払負担金	7,000,000	10,000,000	-3,000,000
委託費	99,525,000	83,704,000	15,821,000
広告宣伝費	2,542,000	3,138,000	-596,000
会議費	150,000	150,000	0
研修会費	0	300,000	-300,000
招聘費	300,000	300,000	0
管理費	27,089,000	15,584,000	11,505,000
給料手当	15,478,000	8,648,000	6,830,000
退職給付費用	388,000	388,000	0
福利厚生費	7,016,000	3,384,000	3,632,000
会議費	59,000	80,000	-21,000
旅費交通費	120,000	120,000	0
通信運搬費	450,000	450,000	0
減価償却費	0	0	0
什器備品費	1,287,000	223,000	1,064,000
消耗品費	100,000	100,000	0
修繕維持費	120,000	120,000	0
印刷製本費	250,000	250,000	0
燃料費	110,000	110,000	0
光熱水料費	70,000	70,000	0
賃貸料	732,000	732,000	0
保険料	100,000	100,000	0
租税公課	600,000	600,000	0
支払協賛金	50,000	50,000	0
新聞図書費	40,000	40,000	0
支払手数料	37,000	37,000	0
慶弔費	20,000	20,000	0
支払会費	31,000	31,000	0
研修費	31,000	31,000	0
経常費用計	144,515,000	121,237,000	23,278,000
当期経常増減額	0	0	0

2. 経常外増減の部			
（1） 経常外収益			
経常外収益計			
（2） 経常外費用			
経常外費用計			
当期経常外増減額			
他会計振替額			
他会計からの繰入額			
他会計への繰出額			
当期一般正味財産増減額	0	0	0
一般正味財産期首残高	1,394,225	1,269,153	125,072
一般正味財産期末残高	1,394,225	1,269,153	125,072
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額			
指定正味財産期首残高			
指定正味財産期末残高			
III 正味財産期末残高	1,394,225	1,269,153	125,072